

～横浜市立大学エクステンション講座～

# 地域指標を活用した 住民参画型の 持続可能な地域づくり

**米国**からの学びと**日本**の挑戦



**SDGs**（持続可能な開発目標）の地域への応用として、地域課題を踏まえた地域目標策定の動きが始まっています。地域での取り組みを進めるためには、課題や目標を地域内で共有し、成果指標など取り組みの可視化が有効であり、参画を促す仕組みが重要だと思われます。

本講座では、米国を中心に指標を活用した地域づくりを推進している“コミュニティ・インディケーター・コンソーシアム”によるウェブサイトを活用した参画型プログラムを紹介し日本における同種の取り組みの可能性を議論します。



日時

2020年 **1** 月 **16** 日 **木**

14:30～16:30

会場

**横浜市立大学 金沢八景キャンパス**

横浜市金沢区瀬戸22-2

(アクセス) 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分

シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

[https://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei\\_campusmap.html](https://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei_campusmap.html)

定員

100 名

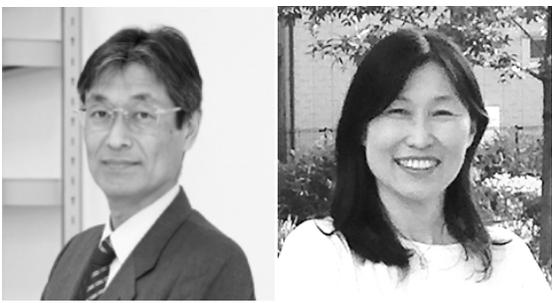
※同時通訳あり

受講料

2,300 円

(横浜市立大学の卒業生は割引になります)

 一般財団法人 CSOネットワーク  
CSO Network Japan



お問い合わせ・お申込み

以下のウェブサイト、もしくはお電話（045-787-8930）、FAX（045-701-4338）にてお申し込み、お問い合わせ下さい

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/ext/lib/20200116chiikisdgs.html>

企画監修：影山摩子弥（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科教授）

主催：横浜市立大学地域貢献センター

共催：一般財団法人CSOネットワーク

助成：国際交流基金 日米センター（CGP）

後援：横浜市政策局



地域課題の解決には、地域の多様な人や組織の力が必要です。課題解決に向けた目標やビジョンを地域の中で共有し、それに向けた行動を促進するには、課題や目標をわかりやすく発信するとともに、目標の進捗を示す指標の共有や可視化が有効と思われます。

本講座では、米国を拠点に、地域の課題や目標、指標、取り組み等を可視化し、それを梃子に地域づくりを推進しているコミュニティ・インディケーター・コンソーシアム（CIC）の事務局長 Chantal Stevens さんと、CICメンバーでテキサス州にてプログラムを展開している Raul Alvarez さんの取り組みをお聞きするとともに、日本の地域づくりにおける可能性について議論します。

## プログラム

※同時通訳あり

### 1. 開会挨拶

横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 影山摩子弥 教授

### 2. 趣旨説明

一般財団法人CSOネットワーク 事務局長代行 長谷川 雅子

### 3. 基調講演

「目標・指標の可視化による持続可能な地域づくり」

講師：コミュニティ・インディケーター・コンソーシアム 事務局長 **Chantal Stevens** 氏  
シャンタル スティーブンス

### 4. 事例報告

#### ① ローカルSDGs「5 goals for 黒部」の取り組み

スピーカー：社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 総務課課長補佐 小柴 徳明 氏

#### ② パートナーシップで進める 地域づくり テキサス州「CAN」の取り組み

スピーカー：コミュニティ・アドバンスメント・ネットワーク 事務局長 **Raul Alvarez** 氏  
ラウル アルバレス

### 5. パネルディスカッション

聞き手：一般財団法人 CSOネットワーク 常務理事 今田 克司

### 6. まとめ 終了

感想・これから

## 海外ゲストプロフィール

### Ms. Chantal Stevens (シャンタル・スティーブンス氏)

コミュニティ・インディケーター・コンソーシアム（Community Indicator Consortium : CIC）事務局長

CICに設立時より関わり、2005年～2008年及び2012年理事。地域開発指標の草分け、サステナブル・シアトル前事務局長、キング・カウnty全域をカバーする地域フォーラムの外部マネージャー及びマネジメントアナリスト等歴任。地域指標と公的関与が、行政と市民社会の連携の鍵と主張するリーダーの一人である。ワシントン大学海事（Marine Affairs）修士。

### Mr. Raul Alvarez (ラウル・アルバレス氏)

コミュニティ・アドバンスメント・ネットワーク（Community Advancement Network: CAN）事務局長

2015年より、CAN事務局長。2000年より6年間オースティン市の市議会議員としてコミュニティ・アドバンスメント・ネットワークの運営委員を務め、2004年に委員長、2015年より現職。2008-2010オースティンコミュニティカレッジ理事。2007年よりオースティン独立学区（公立学校を運営するための行政から独立した法的組織）の運営にも携わっている。スタンフォード大学産業技術学士、テキサス大学地域コミュニティ計画修士。